

1. エーザイ株式会社について

エーザイ株式会社は、研究開発を基盤とするヒューマン・ヘルスケア企業で、世界を舞台に研究・製品の開発・販売活動を行っています。エーザイは神経、精神薬を含む総合的神経領域、消化器領域、支援治療を含むがん治療領域の3つの治療領域に活動を集中し、世界的な研究、生産、販売拠点を通じて、世界中の様々なヘルスケア・システムに積極的に参画しています。エーザイは世界で9,000名以上の従業員を擁し、2006年度のグループの売上高は6,680億円を見込んでいます。そのうち、グループセールスの50%以上は海外からもたらされています。

2. エーザイ・コーポレーション・オブ・ノースアメリカ社について

ECAはエーザイの100%子会社であり、北米における子会社の事業活動を支援しています。子会社には、強力な有機合成の技術基盤による創薬活動を行っているボストン研究所、臨床開発を行うエーザイ・メディカル・リサーチ・インク、製造およびマーケティング・販売機能を有するエーザイ・インク、医薬品製造用機械のマーケティング・メンテナンスを行うエーザイ・マシナリー・USA・インクの4社となります。

3. モルフォテック社について

モルフォテック社は、2000年に設立されたバイオベンチャー企業です。独自のヒト抗体技術「Human MORPHODOMA®」および「Libradoma™」を使用し、がん、炎症性疾患、感染症などの治療に使われるモノクローナル抗体(mAbs)開発を専門としています。本社は米国・ペンシルバニア州エクストン(フィラデルフィア)にあり、従業員数は45人です。モルフォテック社の最新の開発品「MORAb-003」および「MORAb-009」はすでに臨床試験に入っており(「MORAb-003」は卵巣がんを対象としたフェーズI/II、「MORAb-009」は膵臓がんを対象としたフェーズIが進行中)このほかにもIND準備中の開発品も複数保有しています。また今日までに、世界有数の研究所やバイオフーマがパートナーとして、モルフォテック社の研究に参画しています。モルフォテック社に関する詳細は、[www.morphotek.com](http://www.morphotek.com)をご覧ください。

4. モルフォテック社のパイプライン

臨床ステージ	製品名 開発品コード	概要・作用メカニズム	対象疾患
フェーズII	MORAb-003	ヒトIgG1抗体	卵巣がん
フェーズI	MORAb-009	IgG1抗体	膵臓/肺がん
IND準備中	MORAb-004	ヒト IgG1抗体	メラノーマ/ 血管新生を伴う疾患
IND準備中	MORAb-022	完全ヒト IgG1モノクローナル抗体	関節リウマチ
前臨床	MORAb-028	完全ヒト IgMモノクローナル抗体	転移性メラノーマ
前臨床	MORAb-047	治療用抗体	感染症
前臨床	MORAb-048	治療用抗体	感染症

## 5. エーザイの抗がん剤パイプライン

開発ステージ	製品名 開発品コード	概要・作用メカニズム	対象がん
サブパートH申請準備中	E7389	微小管伸長阻害	乳がん、非小細胞肺がん、 前立腺がん、卵巣がん、 肉腫
フェーズ	E7070	細胞周期G1期標的	小細胞肺がん
フェーズ	E7820	血管新生阻害	各種がん
フェーズ	E7080	血管新生阻害	各種がん
フェーズ	E7974	ヘミアステリンタイプチューブリン重合阻害	各種がん
フェーズ 準備中	E7107	微生物代謝産物由来	各種がん

## 6. モルフォテック社の主な技術基盤について

完全ヒトモノクローナル抗体産生と最適化技術 (Human MORPHODOMA<sup>®</sup>, Libradoma<sup>™</sup>)

Human MORPHODOMA<sup>®</sup> (ヒューマン・モルフォドーマ)

Human MORPHODOMA<sup>®</sup>技術は、完全ヒトモノクローナル抗体を産生することができる抗体創出基盤です。さらに、モルフォテック社の独占技術およびノウハウにより、細胞による抗体力価の最大化、抗体のクラススイッチ、抗体の抗原への親和性の向上が可能となります。

Libradoma<sup>™</sup> (ライブラドーマ)

Libradoma<sup>™</sup>技術は、Human MORPHODOMA<sup>®</sup>技術およびモルフォテック社独自の技術を用いて、数千種のハイブリドーマ細胞のライブラリを構築します。その後、ハイブリドーマ細胞から、ハイスループット・ロボットを用いて、望ましい親和性プロファイルをもった抗体を産生する細胞株を速やかに選択します。